

「未来創造プロジェクト」のご提案

「未来予測レポート」を活用した、
中長期戦略の立案支援、ならびに次世代経営人材の育成支援



株式会社アクアビット

www.aquabit.co.jp

プロジェクト概要

■ プロジェクト名

- ・ 「未来創造プロジェクト」

■ プロジェクトの目的

- ・ 「未来予測レポート」からのインプットを元に、次を担う当事者たちに「当社は今後何をすべきか？」未来を決めて貰う。次世代経営チームを本気で育てる。
- ・ “研修(=お勉強)”ではなく、中長期戦略の実行、そして新規事業を具現化することを大前提とする。そのために、外部からの「生きた情報」とサポートを入れる
- ・ プロジェクトリーダーは次の社長候補。プロジェクトメンバーは次の経営を担う人材候補を厳選。メンバーはできるだけ幅広い部署から集める。

■ 期待される成果

- ・ 次世代経営を担う「チーム」を育成 ~ 部門の利害、立場を超えた「全体最適」
- ・ 中長期戦略の明確化 ~ 同じビジョン・ベクトル、共通認識としての「未来予測」
- ・ 真のリーダーを見出す ~ 「やりたい!」という本気の想いを持つ人は誰か？

『未来予測レポート』とは？

- 『未来予測レポート』は、経営者や戦略スタッフ向けの法人向けのレポート。中長期戦略を立案する際に、その前提となる「将来の世界観」と「変化のシナリオ」を提示するものである。上場企業を中心に、シリーズ累計で1,700社以上の導入実績があり、日本を代表する多くの企業において、戦略立案の現場で実際に使われている。
- 本レポートの役割は、戦略議論の基礎となる「共通認識」を構築すること。どんなに優秀なメンバーが集まっても、「基礎知識」に大きな違いがあったり、将来の方向性がずれていれば、議論にならない。経済や社会、環境、テクノロジー、ライフスタイルなどの変化、そして様々な業界を横串で見ながら、「世の中」の変化を立体的に捉えることが不可欠である。
- このレポートで最も伝えたいのは、「過去の延長線上に未来は無い」ということ。なぜなら、社会は今、構造的に変わりつつあるから。その変化の根底にあるのは、【サステナビリティ】【クラウド・コンピューティング】【ライフ・イノベーション】という3つの「メガトレンド」である。
- 未来予測レポートは、戦略やビジョンをバックキャストで考えるために、様々な「前提」を提示する。社会が変われば、求められるビジネスもまた変わる。新しい社会の中で、どんな企業でありたいか？ 何を成し遂げたいかが「ビジョン」。そしてそれを実現するための方策が「中長期戦略」の柱となる。

「未来予測 2035 レポート&デジタルサービス」

未来予測2035

レポート&デジタルサービス



未来予測レポート

	2021	2022	2023	2024	2025	2035
人口	125,000,000	124,000,000	123,000,000	122,000,000	121,000,000	120,000,000
GDP	500,000,000,000	510,000,000,000	520,000,000,000	530,000,000,000	540,000,000,000	550,000,000,000
失業率	5.5%	5.5%	5.5%	5.5%	5.5%	5.5%
出生率	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%
死亡率	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%
平均寿命	81.5歳	81.5歳	81.5歳	81.5歳	81.5歳	81.5歳
総生産額	1,000,000,000,000	1,050,000,000,000	1,100,000,000,000	1,150,000,000,000	1,200,000,000,000	1,250,000,000,000
総消費額	900,000,000,000	920,000,000,000	940,000,000,000	960,000,000,000	980,000,000,000	1,000,000,000,000
総貯蓄額	100,000,000,000	130,000,000,000	160,000,000,000	190,000,000,000	220,000,000,000	250,000,000,000
総投資額	100,000,000,000	130,000,000,000	160,000,000,000	190,000,000,000	220,000,000,000	250,000,000,000
総貯蓄率	10%	12%	14%	16%	18%	20%
総投資率	10%	12%	14%	16%	18%	20%
総貯蓄率	10%	12%	14%	16%	18%	20%
総投資率	10%	12%	14%	16%	18%	20%

未来予測年表

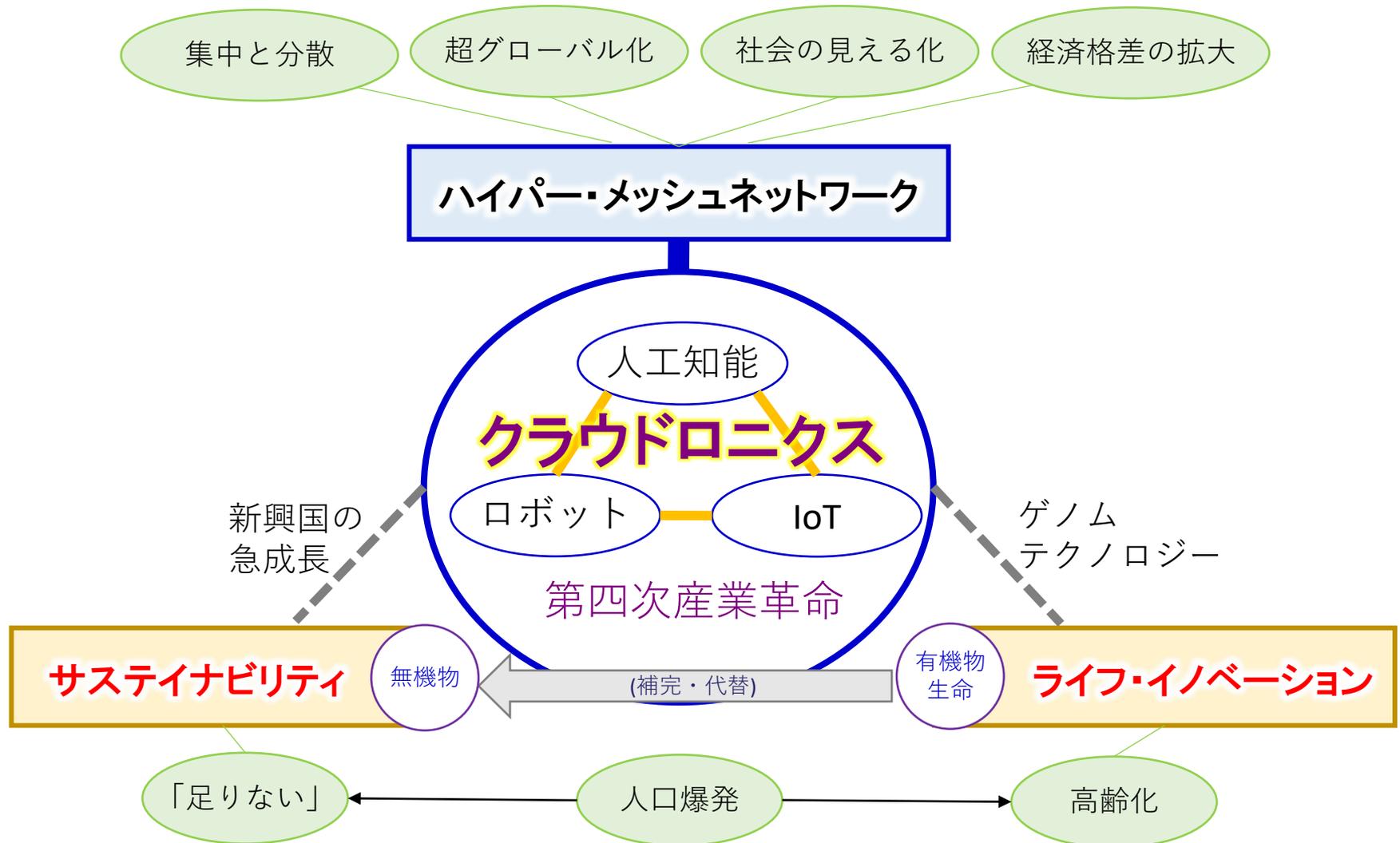


未来予測デジタルサービス
<https://www.miraiyosoku.net/>



未来予測コミュニティ

21世紀社会を創るメガトレンド



なぜ「未来」を考える必要があるのか？

■ 「過去の延長線上に未来は無い」

- ・ 「人口は自然に増える」、「物価は毎年上がる」など、今までの常識が次々と変わり始めている。過去の延長線上にはない、新しい時代が始まっている。
- ・ 実際、どの業界を見渡しても、「今のまま続けていけば10年後も安泰」といえるような企業がほとんどなくなっている。

■ 「未来を創る」。バックキャストからの戦略立案

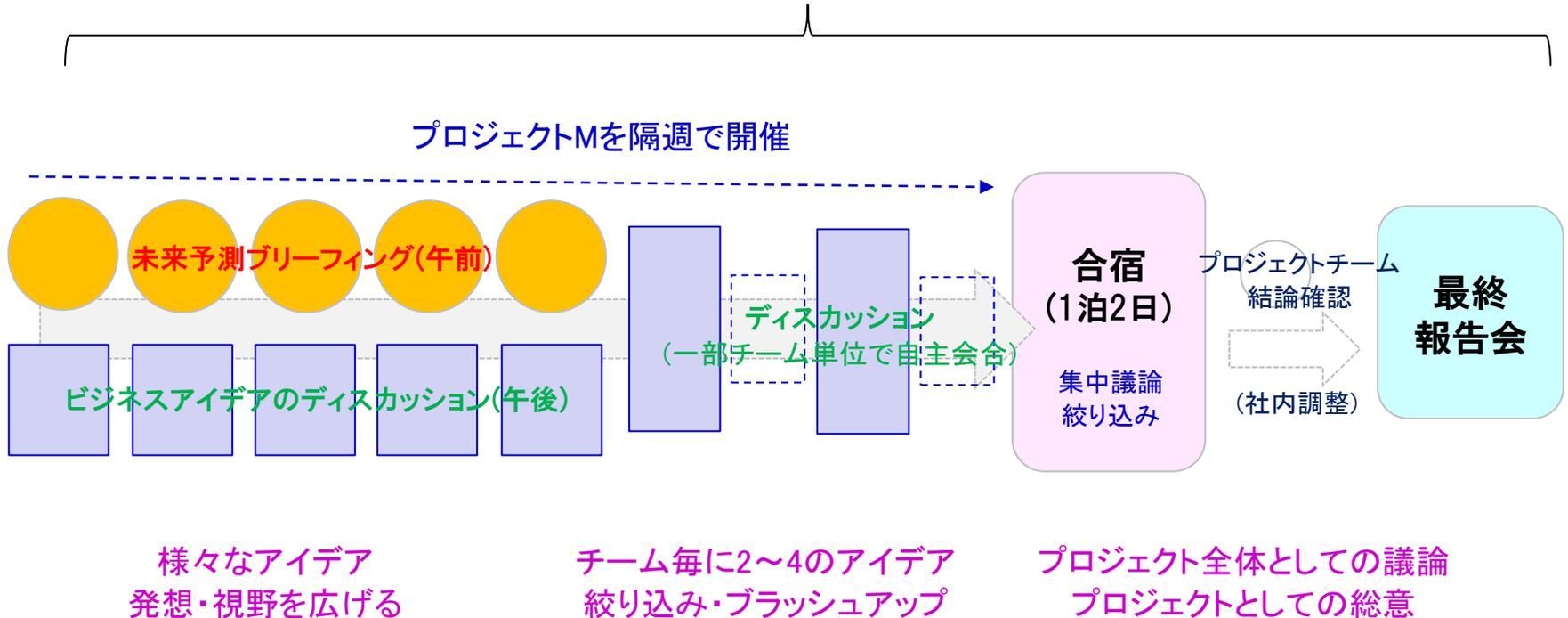
- ・ 今ある商品やビジネスを今後どのように改善していくか？過去の延長線上で考えるだけでは、真にイノベーティブなビジネスや商品は生まれない。
- ・ 「未来」を考え、そこで何が求められるか？「バックキャスト」からの戦略立案が不可欠。未来は「待つ」のではなく、自らの意志で「創る」という意識へ変える。

■ 「全体最適」のためには将来ビジョンが不可欠

- ・ 企業全体として中長期的に何をめざすべきか？セクショナリズムを打破するためには「ビジョン」が不可欠。
- ・ 限られた経営資源をどこに集中すべきか？チームとしてベクトルを合わせる。

プロジェクトの進め方・実施期間

実施期間は4～6か月が標準



ブリーフィング&ディスカッション(例)

午前中

「未来予測」 ブリーフィング

3時間

- ・ アクアビット田中より「未来予測」の解説
(約2時間30分)
- ・ Q&Aを15-20分

昼休憩

午後

ディスカッション

4時間30分

- ・ グループ単位でディスカッション
- ・ (経過報告 ※話し合い内容を共有)
- ・ 最後の30分でアウトプットまとめ
- ・ 各チームから簡潔に発表、Q&A
- ・ 総括

合宿・最終報告会

■ 合宿

- ・ 1泊2日(金・土が一般的)。関東近郊。できれば「畳の広い部屋」がある場所
- ・ 様々なアイデアの中から、プロジェクトとしての総意を集中議論
- ・ 夜まで「未来」を語り合うことで、チームとしての結束力を固める

■ 最終報告会

- ・ プロジェクトとしての「意思」を、できるだけ多くの社員を対象に報告。
- ・ 社長、役員に出席を求める(「未来予測」は経営戦略であり、意思決定が不可欠)



スケジュール ～標準プラン

- 3時間×6回の「未来予測」ブリーフィング、中長期戦略の検討、最終報告など、計9回
 ※第9回は集中討議のため、1Dayのオフサイトワークショップが望ましい

	日程	テーマ	内容
第1回	XX/XX (X) 2.5h+Q&A	3つのメガトレンド	<ul style="list-style-type: none"> 「未来予測」とは何か? なぜ必要なのか? 3つのメガトレンド～「サステイナビリティ」「クラウド」「ライフ・イノベーション」
第2回	XX/XX (X) 2.5h+Q&A	社会・環境の変化 (ニーズ変化)	<ul style="list-style-type: none"> 国際政治の情勢、GDPや所得水準、パワーバランスの変化、 環境、資源、食料、エネルギー
第3回	XX/XX (X) 2.5h+Q&A	テクノロジーの変化 (シーズ変化)	<ul style="list-style-type: none"> エレクトロニクス、通信、ソフト/サービス、自動車、エネルギー 金融、医療・健康、農業・食品など
第4回	XX/XX (X) 2.5h+Q&A	産業・ビジネスの変化 (1) 主にモノづくり	<ul style="list-style-type: none"> クラウドロニクス・サービス産業群(1) (クラウドロニクス、エネルギー、モビリティ、クリエイティブ、金融サービスなど)
第5回	XX/XX (X) 2.5h+Q&A	産業・ビジネスの変化 (2) 主に有機・生命	<ul style="list-style-type: none"> クラウドロニクス・サービス産業群(2) (小売流通、食料・バイオ、医療・ヘルスケア) ファンダメンタル産業、パブリックドメイン分野、パブリックサービス分野
第6回	XX/XX (X) 2.5h+Q&A	ライフスタイル 経営戦略の変化	<ul style="list-style-type: none"> 国内の政治経済や生活、所得や仕事、ライフスタイル・価値観の変化 21世紀型の経営モデル
第7回	XX/XX (X) 3.0h-4.0h	SWOT分析 戦略検討	<ul style="list-style-type: none"> 業界における弊社ポジションの客観的分析、中長期的に取り組むべき課題 今後の事業戦略、ならびに新しい事業モデルの検討
第8回	XX/XX (X) 1-2 Day(s)	新しい事業モデルの検討 ※オフサイトが望ましい	<ul style="list-style-type: none"> 今後の事業戦略、ならびに新しい事業モデルの検討、発表>討論
第9回	XX/XX (X) 1.0-2.0h	経営トップへの提言	<ul style="list-style-type: none"> グループ単位で提案を発表

スケジュール -短期集中プラン

- 4時間×3回の「未来予測」ブリーフィング、事業モデルの検討、提言など、計6回。(1-2か月)
- 「未来予測とは何か?」「テクノロジー」などを割愛。「ビジネス・産業」パートをかなり圧縮して解説。
 ※第5回は集中討議のため、1Dayのオフサイトワークショップが望ましい

	日程	テーマ	内容
第1回	XX/XX (X) 3.0h+Q&A	未来 予測	3つのメガトレンド 社会・経済[マクロ]
第2回	XX/XX (X) 3.0h+Q&A		ビジネス・産業の変化
第3回	XX/XX (X) 3.0h+Q&A		価値観・ライフスタイル 経営戦略の変化
第4回	XX/XX (X) 3.0h-4.0h	SWOT分析 戦略検討	<ul style="list-style-type: none"> • 業界における弊社ポジションの客観的分析、中長期的に取り組むべき課題 • 今後の事業戦略、ならびに新しい事業モデルの検討
第5回	XX/XX (X) 3.0h-1Day	新しい事業モデルの検討 ※オフサイトが望ましい	<ul style="list-style-type: none"> • 今後の事業戦略、ならびに新しい事業モデルの検討、発表>討論
第6回	XX/XX (X) 1.0-2.0h	経営トップへの提言	<ul style="list-style-type: none"> • グループ単位で提案を発表

スケジュール - 超短期集中プラン

- 最短コース。5時間×2回の「未来予測」ブリーフィング+Q&A、事業モデルの検討、提言など、計4回。
- 「未来予測」の概要を2日間に分けて解説。中長期戦略を議論するために必要な知識は一通りインプット。
- 2日間での集中講義は体力的にも相当ハードになるため、あまりお薦めできない。

※第3回は集中討議のため、1Dayのオフサイトワークショップが望ましい

	日程	テーマ		内容
第1回	XX/XX (X) 5.0h+Q&A	未来 予測	メガトレンド 社会・経済	<ul style="list-style-type: none"> •3つのメガトレンド～「サステイナビリティ」「クラウド」「ライフ・イノベーション」 •社会、政治・経済、環境などマクロ変化、価値観・ライフスタイルの変化
第2回	XX/XX (X) 5.0h+Q&A		ビジネス・産業の変化 経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> •様々なビジネス・産業の変化 •経営戦略の変化
第3回	XX/XX (X) 1-2 Day(s)	新しい事業モデルの検討 ※オフサイトが望ましい		<ul style="list-style-type: none"> •新しい事業モデルの検討
第4回	XX/XX (X) 1.0-2.0h	ボードメンバーへの提言		<ul style="list-style-type: none"> •グループ単位で提案を発表

合宿の標準スケジュール

■第1日目 X月X日(金)

時間	時間	内容
9:30~9:45	15分	開会の挨拶(目的、趣旨、ゴールなど)
9:30~9:45	15分	オリエンテーション(スケジュール説明、事務連絡)
10:00~10:20	20分	外部環境分析(未来予測)/サマリー確認
10:20~10:50	30分	ディスカッション(注目すべきポイント)
10:50~11:00	10分	(休憩)
10:50~11:00	20分	内部環境分析/サマリー確認
10:20~11:50	30分	ディスカッション(SWOTなど)
11:50~13:00	70分	(昼食)
13:00~15:00	120分	各グループに分かれての戦略検討、まとめ
13:00~15:00	15分	(休憩)
15:15~17:15	120分	発表、討議(15分説明+15分質問×4グループ)
17:15~17:40	25分	記念撮影、事務連絡→一時解散
17:15~17:40	XX分	(休憩、風呂)
19:00~		夕食
21:00~		二次会(“車座”での戦略ディスカッション)

■第2日目 X月X日(土)

時間	時間	内容
9:00~9:10	10分	挨拶(本日の流れ、最終ゴールの確認)
9:10~9:30	20分	前日のグループ発表の再確認
9:30~10:30	60分	戦略の討議(全社として取り組むべきものは何か)
10:30~10:45	15分	休憩
10:45~11:50	65分	討議の続き、討議結果の確認・まとめ
11:50~12:00	10分	閉会の挨拶

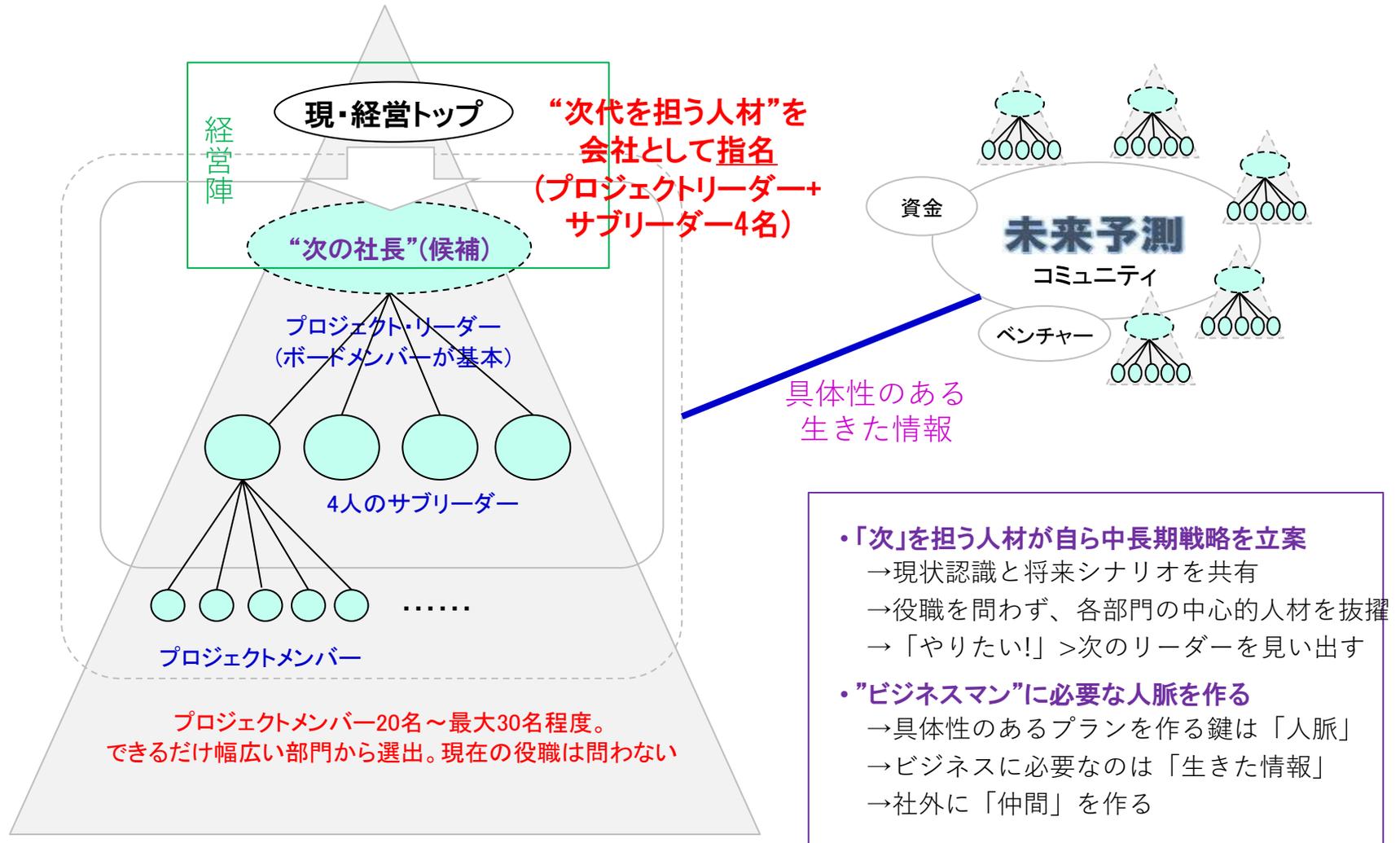
◆仲間意識、一体感を高める

- ・ 議論に集中するためにオフサイトで実施。遠くでなくてもいいが、都心から離れた場所。(伊豆方面など) 途中帰宅は禁止。
- ・ タタミの部屋、車座で夜通し中長期戦略=「未来」を話し合う。夜通し議論する体験を共有することで仲間意識を高める。

◆セクショナルリズム、壁を取り払う

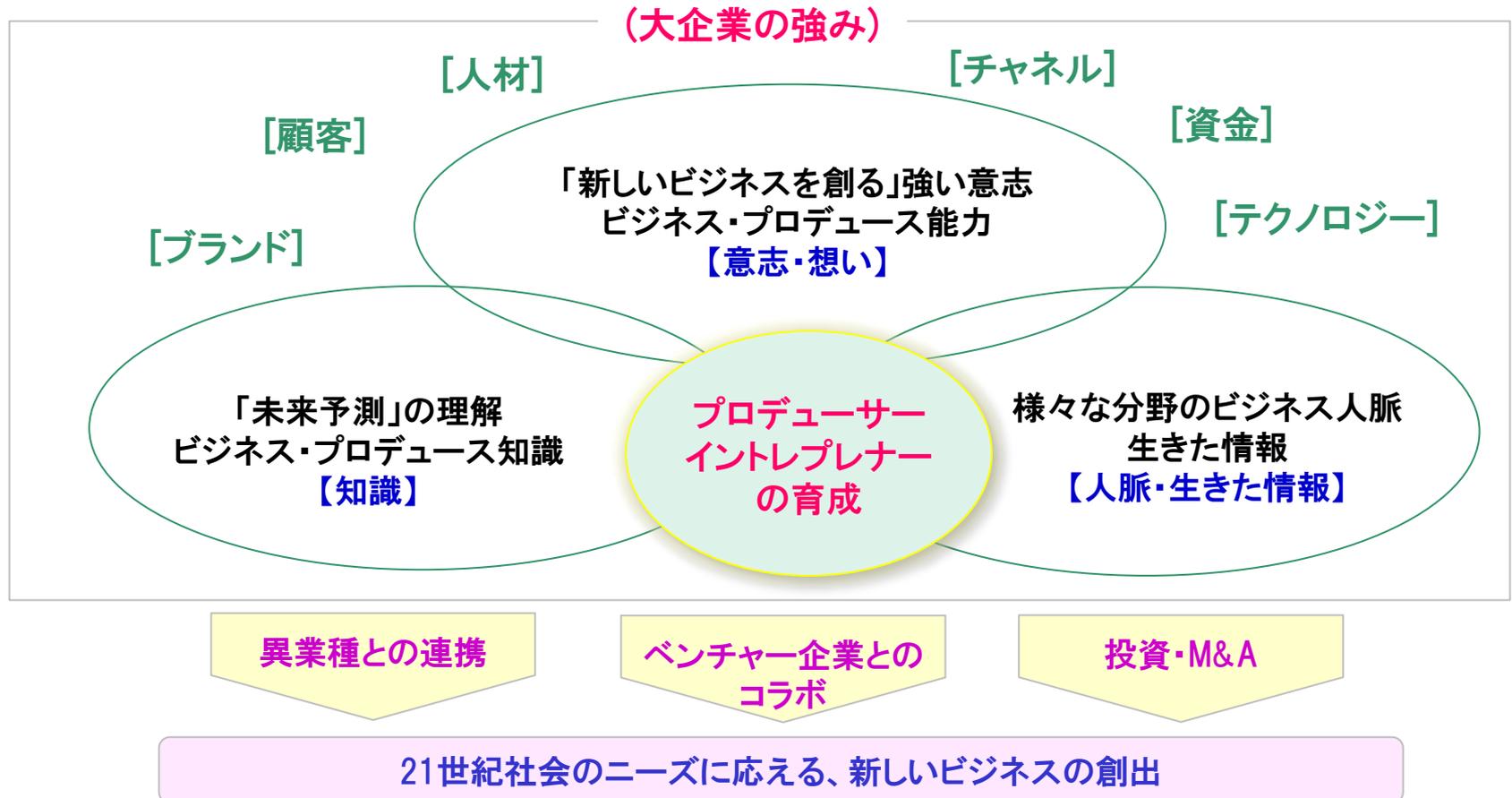
- ・ 社内における自ら立ち位置を忘れて、会社として何がベストか「全体最適」を考える
- ・ アルコール付き、時間を気にせず自由闊達に意見を交わせる機会を設ける。議論を深めると共に、社内の風通しを良くする。

次世代の経営人材を育成、新ビジネスを具体化する仕組み



プロデューサー/イントレプレナーを育成

新ビジネスの創出により、企業価値を高める





「ICT」の向こう側に広がる、
ビジネスの新しい世界

未来予測デジタルサービス

未来予測2035

～第四次産業革命「クラウドロニクス」のゆくえ～

<https://www.miraiyosoku.net/>

未来予測 News Mail

